

先住民族固有の知の 日本への応用可能性

📅 2025年3月22日~23日

📍 北海道大学情報教育館
スタジオ型研修室（3階）

言語：
日本語・英語の同時通訳あり

参加申込：
不要

入場料：
無料

海外ゲストスピーカー



シオン アシクルク トプコク 教授
イヌピアク民族
アラスカ大学フェアバンクス校異文化研究センター長



レーナ シドロヴァ 准教授
サハ民族
北東連邦大学、サハ共和国ヤクーツク市



ヨブロシン 助研究員
アタヤル民族
アカデミア・シニカ 台湾中央研究院



ヤワイテシ 助理教授
アタヤル民族
国立台北大学教員養成・キャリア開発センター



ペイリンユヨ 氏 タロコ民族
伝統的織物工芸家

サリントヤ 氏 モンゴル民族
北海道大学文学院 博士課程大学院生

アクセス



主催

北海道大学
メディア・コミュニケーション研究院・教育学院
ゲーマン研究室
日本学術振興会科研20K20797
科研24K05592
北海道大学GSI

国際シンポジウム
先住民族固有の知の日本への応用可能性
プログラム

3月22日（土）

3月23日（日）

9:30-10:15 ジェフ・ゲーマン 教授 開会挨拶・講演
「先住民族・原住民族・少数民族の「知」の定義や事例、
応用の仕方について—先住民の知が直面している脅威—

=休憩=

10:25-11:10 ション・アシクルク・トプコク 教授
講演「先住民族・原住民族・少数民族の「知」の定義や
現れ方、応用の仕方について—成功事例—

11:10-11:20 レーナ・シドロヴァ 准教授 コメント
ヨブ・ロシン 博士

=休憩=

11:30-12:00 質疑応答

=昼食=

13:15-14:00 レーナ・シドロヴァ 准教授 講演
「サハ共和国の教育と文学におけるIKと先住民言語
—先住民の言語を自らの手に保とうとする方法について—

=休憩=

14:10-14:55 サリントヤ氏 講演
「音と沈黙がつながる絆：モンゴル遊牧民と家畜の関係」

=休憩=

15:15-16:00 ヨブ・ロシン 博士 講演
「グローバルヘルスとローカルノーレッジ
—台湾のアタヤルコミュニティにおける結核予防と
健康教育の事例—

ヤワイテシ 助理教授 講演

「アタヤルになる
—台湾におけるカリキュラムの導入、適用、
交渉と実践に関する民族誌的検討—

=休憩=

16:10-16:55 Tokapci itak 親子学習会のメンバー
十勝アイヌ語

「先祖の言葉と知識を皆なで取り戻す場
—アイヌ語親子学習会の取り組みの経験について—

=休憩=

17:05-17:25 ション・アシクルク・トプコク 教授
コメント

17:25-17:45 質疑応答および一日目の総括

9:00-9:45 ジェフ・ゲーマン 教授
前日の振り返り

9:45-9:55 質疑応答

=休憩=

パネルI:

アイヌと琉球固有の知の現状について

10:05-11:15 アイヌと琉球のパネリスト

=休憩=

パネルII:

アイヌと琉球固有の知の現状について

11:30-11:45 アイヌや琉球から
海外ゲストへの質問タイム

11:45-12:00 他の先住民族からコメントや質問

=昼食=

13:15-15:10 総合討論

15:10-15:25 ション・アシクルク・トプコク 教授
総括

15:25-15:30 ジェフ・ゲーマン 教授
閉会挨拶

最近のホットな概念*
日本における適用を探る

*もっと知りたい方は以下の
QRコードからPDFの説明を
ご覧ください!

